

## プログラミング実習Ⅰ 第1回講義 レジюме

岡元 直樹

### ● 講師自己紹介

岡元 直樹（おかもと なおき） 宮崎県都城市出身。47 歳。

プログラマ・システムエンジニアとして約 11 年、職業訓練やパソコンスクール講師などの講師業を約 13 年経験しています。

神戸学院大学での勤務は 5 年目になります。この講義の他には、ICT 実習Ⅰ・Ⅱを土曜日に有瀬キャンパスの方で担当しています（人文学部・心理学部）。

### ● 情報処理実習室の利用について

情報処理実習室（自習室を含む）は飲食厳禁になります。

機器の故障に繋がりますので、絶対に飲食を行わないでください。

（講義中に飲み物を摂りたい方は、担当教員に一声かけてから廊下でお願いします）

また、パソコンをお持ちでない方は、情報処理自習室を利用することをお勧めします。

A 号館 4 階 情報処理自習室 A(～5/5)

平日 9:00～19:00

土曜 9:00～17:00

（※日曜・授業のない祝日は開放しません）

(5/6～)

平日 9:00～17:00

土曜 9:00～17:00

（※日曜・授業のない祝日は開放しません）

<https://www.kobegakuin.ac.jp/news/7dd2f227fa463189e1da.html> より引用

※なお、情報処理自習室のパソコンは Windows となっております。

### ● 授業の進め方

当講義は「実習」の名前が付く通り、講義内では実習形式がメインとなります。

初めてプログラムに触れる方も多いのではないかと思います。今や小学校等でもプログラミング教育が始まっています。論理的思考とは何か、というのを身に着ける良いきっかけになることを願っています。

講義が進んでくると、講義内でプログラミングを行ったりすることが増えてきます。

また、講義内で課題を出すことも多くなってきます。

情報化社会の波に負けないよう、日々の努力を怠らないようにしてください。

- 評価方法

(学内情報サービスにログイン→シラバスを確認します)

授業への参加状況、毎授業時間における実習成果(40%)、課題(60%)として総合して評価します。また、課題は提出すれば OK ではなく、プログラム提出の場合は動作確認(テスト)を必ず行うことを前提としています。

また、他の講義でも言われているとは思いますが、

欠席回数が全講義の 3 分の 1 以上で「評価不能」となります。

プログラミング実習 I では前期 15 回の講義を予定していますので、6 回欠席で評価不能となります。

出席票の提出をする(画面右下に出席票の提出があります)ことで、出席扱いになりますが、講義開始前に ID・パスワードの入力まで済ませておいてください。

遅刻については、遅刻 3 回で欠席 1 回の扱いとします。

(初回講義(本日)については、遅刻扱いにはしませんのでご安心ください)

- 課題の提出方法など

Microsoft Teams を使用する予定にしています。

ただし、履修登録が終了し、大学側の準備が完了するまでは、課題提出は E-mail でお願いしたいと考えています。(別紙：課題提出について (E-mail での提出))

※本日(第 1 回講義)の課題

今日の時点での意気込み等について、岡元([okamoto@ge.kobegakuin.ac.jp](mailto:okamoto@ge.kobegakuin.ac.jp))までメールすること。

- ・この講義を履修したきっかけ、理由

- ・将来の夢(プログラミング関係でなくても勿論大丈夫です)や、この講義を受けた後、どのような自分になりたいか

締切：第 2 回講義日の前日(4/18)24 時

- プログラミングとは

講義の中でお話いたします。